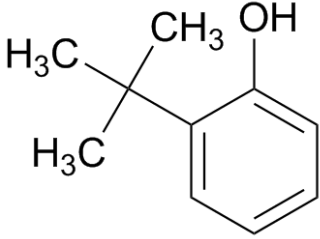


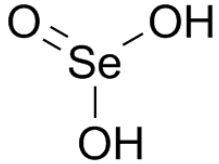
劇物に指定するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
2-ターシャリーブチルフェノール	 <p>化学式 <math>C_{10}H_{14}O</math> / <math>(CH_3)_3CC_6H_4OH</math> 分子量 150.22 CAS No. 88-18-6</p>	原体及びこれを含有する製剤	(原体) 外観:特徴的臭気のある無色～黄色の液体 沸点:223℃ 融点:-7℃ 密度:0.98 g/cm <sup>3</sup> (20℃) 相対蒸気密度:5.2(空気=1) 蒸気圧:0.02 Pa(25℃) 溶解性:水 2.3 g/L(20℃)、エタノール、エーテル、四塩化炭素に可溶。 引火点:110℃(o.c.) 安定性・反応性 強酸化剤、強塩基と反応。	原体: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット 789 急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット 705 急性吸入毒性 LC <sub>50</sub> (mg/L(4hr)) ラット 1.07 (ミスト) 皮膚腐食性 <u>ウサギ</u> あり 眼刺激性 <u>ウサギ</u> 重篤な損傷	樹脂、プラスチック、界面活性剤、香料及び農薬等の製造原料

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub>(Lethal Dose 50)又はLC<sub>50</sub>(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

毒物から劇物(0.0082%以下を含有する製剤)に指定し、劇物(容量1リットル以下の容器に収められたものであって、0.000082%以下を含有する製剤)から除外するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
亜セレン酸0.0082%以下を含有する製剤、容量1リットル以下の容器に収められたものであって、亜セレン酸0.000082%以下を含有する製剤	 <p style="text-align: center;">                         化学式 H<sub>2</sub>SeO<sub>3</sub>                          分子量 128.97                          CAS No. 7783-00-8                     </p>	これを含有する製剤	(原体) 外観: 白色結晶 沸点: 知見なし 融点: 70℃(分解) 密度: 3.004 g/cm <sup>3</sup> (15℃) 蒸気圧: 266 Pa (15℃) 溶解性: 水及びエタノールに極めて溶けやすい。 pH: 酸性 安定性・反応性: 安定。潮解性。 強熱されると有害な酸化セレン(IV)の煙霧を発生。	0.0082%製剤: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >50 急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >200 急性吸入毒性 LC <sub>50</sub> (mg/L(4hr)) ラット >0.5 (ミスト) 0.000082%製剤: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >2,000 急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >10,000 急性吸入毒性 LC <sub>50</sub> (mg/L(4hr)) ラット >10 (ミスト) 皮膚腐食性 ウサギ <sup>*</sup> なし 眼刺激性 ウサギ <sup>*</sup> なし	生物実験用試薬(細胞培養用培地、細胞等)

※ 急性毒性: 単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub>(Lethal Dose 50)又はLC<sub>50</sub>(Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

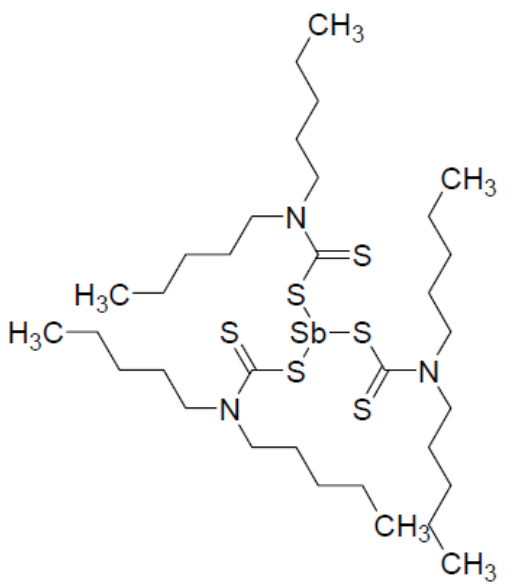
劇物から除外するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
焼結した硫化亜鉛(Ⅱ)	<p style="text-align: center;"><b>ZnS</b></p> <p style="text-align: center;">化学式 ZnS 分子量 97.45 CAS No. 1314-98-3</p>	原体	<p>(焼結した硫化亜鉛(Ⅱ))            外観:乳白色～黄橙色の固体            沸点:1,180℃(昇華点)            融点:1,718℃(50atm の加圧環境下では昇華は生じず、1,718℃で固相から液相へと変化する融解を生じる。)            密度:4.08 g/cm<sup>3</sup>            蒸気圧:知見なし            溶解性:水に不溶</p> <p>(硫化亜鉛(Ⅱ))            安定性・反応性:            通常状態では安定な化合物であるが、高温の火災により分解あるいは酸化し、亜鉛蒸気、硫黄蒸気、酸化亜鉛及び硫黄酸化等を発生する可能性がある。            塩酸、硝酸、硫酸等の酸に溶解し、この際に硫化水素を発生する。</p>	<p><u>焼結した硫化亜鉛(Ⅱ):</u>            急性経口毒性            LD<sub>50</sub>(mg/kg)            ラット &gt;2,000</p> <p>急性経皮毒性            LD<sub>50</sub>(mg/kg)            ラット &gt;1,000</p> <p>急性吸入毒性            LC<sub>50</sub>(mg/L(4hr))            ラット &gt;1.21 (ダスト)</p> <p>皮膚腐食性            ウサギ<sup>a</sup> なし</p> <p>眼刺激性            ウサギ<sup>a</sup> 軽度の刺激性</p>	遠赤外カメラ用レンズ

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub>(Lethal Dose 50)又はLC<sub>50</sub>(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

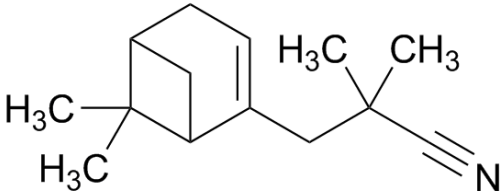
劇物から除外するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
<p>トリス(ジペンチルジチオカルバマト-κ<sup>2</sup>S, S')アンチモン5%以下を含有する製剤</p>	 <p>化学式 (C<sub>11</sub>H<sub>22</sub>NS<sub>2</sub>)<sub>3</sub>Sb / C<sub>33</sub>H<sub>66</sub>N<sub>3</sub>S<sub>6</sub>Sb 分子量 819.05 CAS No. 15890-25-2</p>	<p>これを含有する製剤</p>	<p>(原体) 性状: 固体 沸点: &gt;300℃ 融点: 知見なし 密度: 知見なし 蒸気圧: &lt;1×10<sup>-10</sup> mmHg 溶解性: 水 &lt;0.0454 mg/L (20℃) 安定性・反応性: 知見なし</p>	<p>原体: 急性経口毒性 LD<sub>50</sub> (mg/kg) ラット &gt;2,000 急性経皮毒性 LD<sub>50</sub> (mg/kg) ラット &gt;2,000 急性吸入毒性 LC<sub>50</sub> (mg/L (4hr)) ラット 0.71 (ミスト) 皮膚腐食性 ウサギ<sup>*</sup> なし 眼刺激性 ウサギ<sup>*</sup> 軽度の刺激性  5%製剤: 急性経口毒性 LD<sub>50</sub> (mg/kg) ラット &gt;2,000 急性経皮毒性 LD<sub>50</sub> (mg/kg) ラット &gt;2,000 急性吸入毒性 LC<sub>50</sub> (mg/L (4hr)) ラット 0.20 (ミスト) 皮膚腐食性 ウサギ<sup>*</sup> なし(軽度の刺激性) 眼刺激性 ウサギ<sup>*</sup> なし</p>	<p>高荷重用潤滑剤</p>

※ 急性毒性: 単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub> (Lethal Dose 50) 又は LC<sub>50</sub> (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

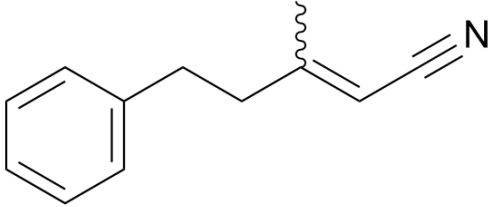
劇物から除外するもの

名 称	構 造 式	区 分	性 状	毒 性	主な用途
3-(6,6-ジメチルビシクロ[3.1.1]ヘプタ-2-エン-2-イル)-2,2-ジメチルプロパンニトリル	 <p style="text-align: center;">             化学式 C<sub>14</sub>H<sub>21</sub>N              分子量 203.32              CAS No. 2003244-43-5           </p>	原体及びこれを含有する製剤	(原体) 外観: 白色固体 沸点: 294.5℃ 融点: 38℃ 蒸気圧: 3.4 Pa (20℃) 溶解性: 水 8.38 mg/L	原体: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >2,000 急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >2,000 急性吸入毒性 LC <sub>50</sub> (mg/L (4hr)) ラット >4.28 (ミスト) 皮膚腐食性 ウサギ <sup>*</sup> なし 眼刺激性 ウサギ <sup>*</sup> 軽度の刺激性	香粧品用香料

※ 急性毒性: 単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub> (Lethal Dose 50) 又は LC<sub>50</sub> (Lethal Concentration 50): 50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

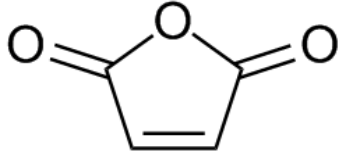
劇物から除外するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
3-メチル-5-フェニル ペンタ-2-エンニトリル	 <p>化学式 C<sub>12</sub>H<sub>13</sub>N 分子量 171.24 CAS No. 93893-89-1</p>	原体及びこれを 含有する製剤	(原体) 外観:無色～微黄色の透明 な液体  沸点:230℃(1,013.0 mbar)  凝固点:<-30.0℃  密度:0.977~0.981 D (20/4)  蒸気圧:0.2 mbar (20℃)、 <1 kPa (50℃)  溶解性:水に不溶  安定性・反応性: 常温で安定、通常使用で 反応性はない。	原体: 急性経口毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット 500  急性経皮毒性 LD <sub>50</sub> (mg/kg) ラット >2,000  急性吸入毒性 LC <sub>50</sub> (mg/L(4hr)) ラット 5.31 (ミスト)  皮膚腐食性 ウサギ <sup>1</sup> なし  眼刺激性 ウサギ <sup>1</sup> 軽度の刺激性	石鹼、洗剤に使用 する香料

※ 急性毒性:単回投与(暴露)によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub>(Lethal Dose 50)又はLC<sub>50</sub>(Lethal Concentration 50):50%致死量(濃度)を表し、投与(暴露)された動物のうち50%が死亡する投与量(濃度)を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。

劇物から除外するもの

名称	構造式	区分	性状	毒性	主な用途
無水マレイン酸1.2%以下を含有する製剤	 <p>化学式 C<sub>4</sub>H<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 分子量 98.06 CAS No. 108-31-6</p>	これを含有する製剤	<p>(原体)            外観: 刺激臭のある無色～白色の結晶            沸点: 202℃            融点: 52.8℃            密度: 1.48 g/cm<sup>3</sup> (25℃)            相対蒸気密度: 3.4 (空気=1)            蒸気圧: 25 Pa (25℃)            溶解性: 水と反応 (容易に加水分解されてマレイン酸となる。)、アセトン、酢酸エチル、クロロホルム、ベンゼンに可溶。            引火点: 102℃ (c.c.)            安定性・反応性:            水酸化アルカリ、アルカリ金属、アミン、酸化剤と激しく反応。</p> <p>(1%懸濁液) pH: 3.1</p> <p>(1.2%製剤) 安定性・反応性: 室温及び非遮光下で 21 日間安定。</p>	<p>原体:            急性経口毒性            LD<sub>50</sub> (mg/kg)            ラット 400～1,100</p> <p>急性経皮毒性            LD<sub>50</sub> (mg/kg)            ウサギ<sup>*</sup> 2,620</p> <p>急性吸入毒性            LC<sub>50</sub> (mg/L (4hr))            ラット &gt;1.1 (ミスト)</p> <p>皮膚腐食性            ウサギ<sup>*</sup> <u>あり</u></p> <p>眼刺激性            ウサギ<sup>*</sup> <u>重篤な損傷</u></p> <p><u>1.2%製剤:</u>            皮膚腐食性            ウサギ<sup>*</sup> なし (軽度の刺激性)</p> <p>眼刺激性            ウサギ<sup>*</sup> なし</p>	農薬の安定化剤

※ 急性毒性: 単回投与 (暴露) によって短期間に引き起こされる毒性作用を意味し、経口、経皮、吸入等の投与経路がある。

※ LD<sub>50</sub> (Lethal Dose 50) 又は LC<sub>50</sub> (Lethal Concentration 50): 50%致死量 (濃度) を表し、投与 (暴露) された動物のうち50%が死亡する投与量 (濃度) を表す。通常、経口、経皮については動物の体重当たりの投与量で、吸入の場合は、一定空間中の当該物質の濃度で表される。